

歯学概論

《履修上の留意事項》1. 授業資料を配付する場合には、重要ポイントなどをメモとして適切に書き留めること。
2. 毎回授業後に小テストを実施するので、よく授業を聞いて理解すること。
3. 授業終了後復習に際し、授業内容をまとめる習慣を身に付けるように努めること。

《担当者名》学長 / 三国 久美 教授 / 齋藤 隆史 t-saito@ 教授 / 伊藤修一 shu@ 教授 / 長澤 敏行 nagasawa@ 教授 / 豊下 祥史 toyosita@ 教授 / 會田 英紀 aita@ 教授 / 倉重 圭史 kura@ 教授 / 飯嶋 雅弘 iijima@ 教授 / 志茂 剛 shimotsu@ 教授 / 永易 裕樹 nagayasu@ 教授 / 吉田 充広 mh-yoshida 教授 / 川島 雄介 kawashima-y@ 教授 / 飯田 貴俊 tiida@ 教授 / 高橋 伸彦 ntks@ 特任教授 / 三浦 宏子 hmiura@ 非常勤講師 / 佐藤 結香

【概要】

歯学部では歯科医学に精通し医療提供者として社会に貢献できる歯科医師を育成するために、全学教育科目、専門基礎科目および臨床系科目の講義と実習が学年の進行に合わせて複合的に行われる。歯学概論では、専門基礎系科目および臨床系科目の教授内容に関する概説を聴講し、6年間で学ぶべき内容と目指すべき歯科医師像について理解を深める。

【学修目標】

- 1 三国 歯科医学と歯科医療の違いを理解するとともにどのように発展してきたかを学ぶ。
- 2 伊藤 超高齢社会において歯科医療の果たすべき役割の概要を理解する。
- 3 齋藤 う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患とその予防・治療法の概要を理解する。
- 4 長澤 歯周病の原因と治療について概要を学ぶとともに、歯周病の診断・治療に解剖学、微生物学、生化学などの基礎医学や内科学などの隣接医学が必須であることを理解する。
- (5 豊下 嘔吐ことと健康のつながりを理解するとともに、災害時における歯科医療の役割を理解する。
- 6 會田 老年医学について理解するとともに、超高齢社会における歯科医師の役割を理解する。
- 7 倉重 1. 一生涯健康な歯・口を維持するために小児期からの口腔管理を理解する。
2. 障害児(者)の現状と、口腔管理について理解する。
- 8 飯嶋 正常咬合の定義と不正咬合の種類を理解するとともに、不正咬合が口腔及び全身の健康に及ぼす影響を理解する。
- 9 志茂 永易 口腔・顎顔面領域の構造・機能を理解し、疾患・病因及び診断・治療を理解する。口腔外科において診断・治療の対象となる疾患の概要と各疾患における治療目標について理解する。
- 10 吉田 どのような患者さん、どのような治療や病態が歯科麻酔による管理を必要としているのかを理解する。
- 11 川島 歯科医療における電離放射線が利用されていること、医科を含む医療全般における多職種連携をとるために画像診断の概要を学習する必要があること、および国民に対する電離放射線障害の軽減方策が必要であることを理解する
- 12 飯田 摂食嚥下障害(食べる機能の障害)の原因や病態を把握するとともに、その対応法を理解する。
- (13 高橋 優れた歯科診療の実践のために、全身疾患への理解を深め、患者中心の視点で診療を行うことの重要性を理解する。
- 14 三浦 我が国の歯科保健データを把握するとともに、地域での主要な歯科保健対策の概要を理解する。
- 15 佐藤 開業歯科医師として社会に貢献している実績を紹介し、その意義について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯学概論講演	歯科医学と歯科医療の違いを理解するとともにどのように発展してきたかを学ぶ。 コアカリ：B-1 健康の概念	三国 久美
2	歯学概論序論	本学歯学部での歯科医学教育について概要を理解する。 超高齢社会において歯科医療の果たすべき役割の概要を理解する。 コアカリ：B-1 健康の概念 E 臨床歯学	伊藤 修一
3	う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患とその予防・治療法を知る	歯の構造と機能の概要を理解する。 う蝕とその他の歯の硬組織疾患の概要を理解する。 う蝕とその他の歯の硬組織疾患に対する予防・治療の概要を理解する。 コアカリ：A-3-4-4 永久歯、乳歯、根未完成歯、幼若永久歯の硬組織の構成成分、構造及び機能を理解している。	齋藤 隆史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>D-5-1-1 主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を理解している。</p> <p>D-5-1-2 齲蝕予防における予防充填及びフッ化物の応用方法を理解している。</p> <p>D-5-1-3 ブラークコントロールの意義と方法を理解している。</p> <p>D-3-2-1 齲蝕とそのほかの歯の硬組織疾患（Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常）の病因と病態を理解している。</p>	
4	歯周病	<p>歯周組織の構造と機能の概要を理解する。</p> <p>歯周病の概要を理解する。</p> <p>歯周病に対する治療の概要を理解する。</p> <p>コアカリ：A-3-4 歯と歯周組織の構造と機能 D-2-4 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 D-5-2 歯と歯周組織の疾患の治療</p>	長澤 敏行
5	噛むことと健康	<p>噛むことと健康のつながりを理解する。</p> <p>災害時における歯科医療の役割を理解する。</p> <p>コアカリ：C-4 健康と社会、環境 D-5-3-2 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）による治療 D-6 多職種連携、チーム医療、地域医療 E-5-3-4-2 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）による治療 E-6-2 地域医療</p>	豊下 祥史
6	クラウンブリッジを知る	<p>固定性補綴学を学習するうえで必要となる関連学問領域について理解する。</p> <p>コアカリ：D-5-3-1 固定性補綴装置（クラウンブリッジ）による治療 D-5-3-1-1 固定性補綴装置の意義と具備条件を理解している。 D-5-3-1-2 固定性補綴装置の種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を理解している。</p>	會田 英紀
7	小児・障害児（者）の口腔管理	<p>口腔（機能）の発育について理解する</p> <p>小児期における口腔管理の重要性を理解する。</p> <p>障害児・者の歯科治療について理解する。</p> <p>コアカリ：E-5-5 小児の歯科治療 E-5-7 障害児・者の歯科治療</p>	倉重 圭史
8	歯並びと健康	<p>良い歯並び・咬みあわせ（正常咬合）を理解する。</p> <p>悪い歯並び・咬みあわせ（不正咬合）の種類と口腔及び全身の健康に及ぼす影響を理解する。</p> <p>不正咬合の診断、治療に必要な基礎知識及びその治療方法（矯正歯科治療）を理解する。</p> <p>コアカリ：D-5-5 不正咬合の治療 D-5-5-3 不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を理解している。</p>	飯嶋 雅弘
9	口腔外科を知る	<p>歯科における口腔外科の役割を理解する。</p> <p>口・あごの疾患を知る。</p> <p>コアカリ：E-2-2) 口腔領域の構造と機能 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p> <p>歯科診療における口腔外科の位置づけを理解する。</p> <p>顎・顔面領域の疾患について概要を理解する。</p> <p>顎・顔面領域の疾患の治療法の概要を理解する。</p> <p>コアカリ：C-1 医の倫理、生命倫理と患者中心の歯科医療 C-3 医療の質と患者安全の確保 D-2 基本的診察、診断</p>	永易 裕樹 志茂 剛

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		E-2-2 口腔、顎顔面領域の診察・検査 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査	
10	歯科麻酔を知る	歯科麻酔が臨床で果たす役割を理解する。 歯科麻酔学を学習するうえで必要となる関連学問領域について理解する。 コアカリ：D-1-2 麻酔・除痛法 D-1-2-1 局所麻酔法、 D-1-2-2 精神鎮静法 D-1-2-3 全身麻酔法 A-3-2 頭頸部の基本構造と機能 A-3-3-9 口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を理解している。	吉田 充広
11	電離放射線と画像検査を知る	放射線とはなにかを理解する。 放射線が医療にどのように利用されているかを理解する。 歯科医療において放射線学を学ぶ意味を理解する。 コアカリ：C-3 医療の質と患者安全の確保 D-2-4 医科歯科連携 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 E-2-5 画像検査を用いた診断	川島 雄介
12	食べる機能の障害を知る	摂食嚥下障害とその対応について理解する。 コアカリ：E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 E-5-2) 障害者の歯科治療	飯田 貴俊
13	歯科における内科学の立ち位置を知る	治療を行うのは「病変」のみならず、「病をもつ人」であるということを理解する。 歯科診療において、全身疾患に配慮することの重要性を理解する。 コアカリ：E-6 医師と連携するために必要な医学的知識	高橋 伸彦
14	地域での歯科保健活動	我が国の歯科保健状況について知るとともに、地域歯科保健の社会的意義について理解する。 コアカリ：B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健統計 B-4-3) 保健医療情報	三浦 宏子
15	開業医として社会に貢献できること。	開業歯科医師として社会に貢献している実績を紹介し、その意義について理解する。 コアカリ：A-7-1) 地域医療への貢献	佐藤 結香

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義時に小テスト、レポート提出等を実施し、各回10点満点とする。

学業は、前期の平均点を100点換算し評価点とする。

【学修の準備】

- 1 三国 予習・復習（60分）世界史の概略を理解しておくこと。
- 2 予習・復習（60分）健康寿命を延伸させる方策について情報を収集しておくこと。
- 3 齋藤 予習・復習（60分）歯の構造およびう蝕について調べておくこと。
- 4 長澤 予習・復習（60分）歯周病の原因と治療法について自ら調べて現時点での自分の考えをまとめておくこと。
- 5 予習・復習（60分）災害時の避難所等に関するニュース（食事や衛生環境などを中心に）をよく見聞きしておくこと。

- 6 會田 予習・復習 (60分) 高齢者医療に関するニュース (口腔健康管理などを中心に) をよく見聞きしておくこと。
- 7 倉重 予習・復習 (60分) 日常のニュースソースから小児、障害児 (者) の現状を把握しておくこと。
- 8 飯嶋 予習・復習 (60分) 日本矯正歯科学会のホームページに掲載されている (<https://www.jos.gr.jp/about>) 「矯正歯科治療について」を一読する。
- 9 志茂 永易 予習・復習 (60分) 口・あごの病気 (外傷・口腔がん・顎変形症など) をインターネットなどで調べてみる。事前配布資料および図書館にて4学年使用の「Simple Text 口腔外科の疾患と治療」の大項目について予習すること。
- 10 予習・復習 (60分) 歯科麻酔とは、全身麻酔、鎮静法、ペインクリニック、救急救命についての情報を検索しておくこと。
- 11 川島 予習・復習 (60分) 医療や原子力発電所の事故処理など、身近に電離放射線が利用されていることに関するニュースをよく見聞きしておくこと。
- 12 飯田 予習・復習 (60分) インターネットで、学会や歯科医師会が提供する摂食嚥下障害についての記事を閲覧しておくこと。
- 13 高橋 予習・復習 (60分) 全身疾患をもつ患者の治療について、自分なりのイメージをもつこと。
- 14 三浦 予習・復習 (60分) 歯科保健に関するサイト (https://www.8020zaidan.or.jp/10th_8020/) にて事前学習しておくこと。
- 15 佐藤 予習 (30分) 歯科に関する報道について目を通す。 復習 (30分) 講義内容について気になった点などをノートにとり、その内容について整理してまとめておく。

【ディプロマ・ポリシーと当該授業科目の関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種 (保健、医療、福祉、介護) と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。(多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。(社会における医療の役割の理解)

【実務経験】

三国 久美 (保健師) 斎藤 隆史 (歯科医師) 伊藤 修一 (歯科医師) 長澤 敏行 (歯科医師) 會田 英紀 (歯科医師)
倉重 圭史 (歯科医師) 飯嶋 雅弘 (歯科医師) 志茂 剛 (歯科医師) 永易 裕樹 (歯科医師) 吉田 充広 (歯科医師) 川島 雄介 (歯科医師) 飯田 貴俊 (歯科医師) 高橋 伸彦 (医師) 三浦 宏子 (歯科医師) 豊下 祥史 (歯科医師) 佐藤 結香 (歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

医師、歯科医師としての実務経験を活かし、幅広い歯科医療の展開の基盤となる基礎歯科医学を学修し、目指すべき歯科医師像の構築に寄与する教育を行っている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している